

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	世田谷区成城 3 丁目 1 8 番 2 0 号
園名	世田谷区立喜多見保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然豊かな園庭環境を目指して

<テーマの設定理由>

築山や花壇・裏庭など、自然が豊かな園庭で日ごろから虫探しや野菜の栽培・観察などに親しんでいるが、スペースが狭く、クラスごとの活動になりがちであった。子どもの発見から遊びが展開したり、発見から興味が広がるなど、子どもが主体的にあそびをすすめられるよう、さらに魅力的な園庭環境を目指し、自然物を通して子どもの探求心や主体性を育む保育をすすめていきたい。

2. 活動スケジュール

* 年間を通して、虫探しや自然物を使ったあそびを楽しみ、野菜くずを使つての遊びや虫が集まる場所の整備を行う

R7.5月～年間を通して ・野菜くずで遊ぼう

(使いやすい遊具の準備等環境整備)

R7.5月～7月 ・虫はどこにいるかな？

(築山周辺と落ち葉だめの整備・プールサイドの草むら化)

5月～9月 ・野菜はどう育つ？どんな虫が来てる？調べてみよう！

(プランターでの夏野菜栽培・2階テラスの環境整備)

(図鑑や絵本、顕微鏡の設定)

7月～10月 ・虫の音が聞こえるかな？

(プランターの配置変更とクラピア・草花の植栽)

11月～3月 ・どんな虫が来てる？どんなお花が咲くかな？

(プランターでの冬野菜栽培)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ プールサイドの草むら化に向けて、腐葉土や培養土の購入、クラピア、クローバー、花、各種野菜の種・苗の購入と植栽
- ・ 子どもが自由な発想で野菜くずあそびができるようなテーブルの設置
- ・ 日々の給食調理より出る野菜くずの提供
- ・ 虫探しを楽しめるよう虫が住み着く環境作りのためのプランター
- ・ 子どもも安心して使える園庭用のベンチ・テーブル・低床ベンチ・遊具棚の準備
- ・ 園庭で見つけた虫を知るための図鑑、絵本、虫めがね、デジタル顕微鏡の準備
- ・ 遊びやすい環境を作るための木製フェンス

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

1. 野菜くずで遊ぼう
2. 園庭にはどんな虫がいる？
3. これはなんだ？調べてみよう！

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

1. 野菜くずを出すと「このおやさい、なんていうの？」

「はっぱがぱりぱりするね」など子どもたちで気づいたことを話しながら野菜くずを触り始める。「どんなにおいがる？」との保育士の問いかけに「いいにおい」「くさのにおいする」など感じたことを次々と言い始め、お互いににおいを嗅がせてみたりして楽しむ。その様子を見ていた3歳児がそばで野菜をちぎり始めると2歳児も真似をする。保育士がそっと皿やコップを近くに置くことで、そこからままごとへと展開した。



2. 草花を植栽したところにいろいろな虫が集まるようになったことで、園庭に出てすぐに子どもたちが虫探しを始める。アリやダンゴムシなど地面や草花に興味を向いている子が多い中、「セミのこえがする！」と3歳児が気づき、保育士とともに鳴き声のする木に向かうとセミの抜け殻を発見した。そこから抜け殻探しが始まり、何日もかけていくつも見つける。見つけたセミの抜け殻を画用紙に貼ってクラスに展示し、子どもたちが見つけることを楽しんでいる様子を保護者にも見て分かるようにしたことで、親子の会話が広がる様子もあった。また、折り紙でセミを作るなど興味がどんどん広がった。



3. 5歳児クラスに昆虫や植物の図鑑や絵本を集中的に置き、子どもからの疑問について保育士が図鑑や絵本を紹介することで、虫を見つけたり気になる花や葉を見つけると図鑑を開いたり、においや感触を確かめるなどして確認したり、虫メガネやデジタル顕微鏡で調べたりする姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

1.

・保育士が環境整備を行い、適切なところで声掛けをすることで、子どもの遊びの発展や探求心が育つ部分があると感じた

・日々、保育士が野菜くずに触れることで、子どもたちも抵抗なく遊んでいると思う。

・まずは保育士がやってみることや子どもの言葉に共感することで、興味が広がるきっかけになったと思った。

・クラスに関係なく、誰もが自然に関われる場所になっているので、このまま継続していきたい。

2.

・草花や雑草、花を増やすことで、そのスペースが「楽しい」と思えるスペースになっている。このまま植栽も含めて継続していきたい。

・初めは虫に触ることができなかった子も、草花がすぐに触れるところにあり、小さな虫も見慣れることで、見つけたり触ったりしながら興味を持つことができた。

・身近に自然があることで、子どもたちの興味・関心がふくらんで、集中して遊ぶ姿に「自然」のもつ力が感じられた。

・子どもの「楽しい」を保護者も一緒に楽しむ展示が面白いと思った。

3.

・図鑑や絵本をすぐに見られる場所に設定したことで、特に5歳はよく調べていて、興味が広がっていると感じた。

・虫メガネは自由に取れるところにあることで、気軽に使えることもあり良く見ていた。